

令和3年度神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科総合型選抜入試問題

スポーツ科学受験筆記試験

『出題の意図・評価ポイント』

スポーツ科学に関する筆記試験

※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。

※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。

なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、令和3年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

問題Ⅰ

問1、問2、問3：

下線部（あ）から下線部（う）が示す概念や状況を、問題資料から理解し（理解力）、的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

問題Ⅱ

問1：

小学6年生と中学3年生の生徒を対象に朝食欠食状況を2007年度から2018年度まで調査した結果をまとめた図を問題資料として提示し、小学6年生と比較し中学3年生において朝食欠食の割合が全ての年度で高くなっている要因について、問題資料から考察し（思考力）、的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

問2：

朝食欠食が健康に及ぼす影響について理解し（理解力）、『』内の指定語句を用いて的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

問3：

朝食摂取が体力にもたらす利点について理解し（理解力）、栄養素の役割を考慮しつつ的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

問4：

食育とはどのような食に関する知識を学ばせることであるかについて理解し（理解力）、的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

問題Ⅲ

問1：

5、11、14、17歳の男子及び女子における肥満傾向児出現率の1977年度から2014年度までの推移

を示した図を問題資料として提示し、肥満傾向児が 1994 年度にかけて急激に増加している要因について、問題資料から考察し（思考力）、的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

問 2：

問 1 と同様に、5、11、14、17 歳の男子及び女子における肥満傾向児出現率の 1977 年度から 2014 年度までの推移を示した図を問題資料として提示し、近年では肥満傾向児が男女とも減少し始め痩身傾向児が増加しつつある要因について、問題資料から考察し（思考力）、的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

問題IV

問 1 から問 4：

運動・スポーツ分野の基礎的用語に関する知識を問う問題である。

問 5：

多様な人たちの参画が可能な、画一的でないスポーツ実践とは、どのような行動を実行することであるかについて、問題資料を踏まえて考察し（思考力）、的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

問 6：

a) は、日本学術会議が、スポーツの価値の普及のためには「e スポーツを含め、『身体運動』を超えた新たな価値に配慮する必要がある」と主張する根拠を問題資料から理解できるか（理解力）、b) は、日本学術会議のこの主張を、e スポーツを含めてスポーツの価値の普及を検討するべきであるとする立場と、スポーツの価値の普及には e スポーツを含むべきではないとする立場から、的確に論評し、記述できるか（思考力、表現力）を問う問題である。

問 7：

日本学術会議が「スポーツについてもその価値を科学的エビデンスに基づいて考えることが必要」であると主張する根拠を問題資料から理解できるか（理解力）、またこの主張を踏まえて、大学におけるスポーツ科学の学修を通して、スポーツの価値の普及、向上にどのように寄与、貢献することができるかについて考察し、記述できるか（思考力、表現力）を問う問題である。